



禅は無道徳であっても、無芸術ではありえない。※1

大拙

を体験する

2020

ワタリウム美術館 大拙を体験する

150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6 Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714
Email:official@watarium.co.jp http://watarium.co.jp/

● 期間
● 時間
● 講師

2020年2月16日 全4回
19時-21時

齋藤環 精神科医 / 筑波大学医学医療系社会精神保健学教授

土井善晴 料理研究者 / おいしいもの研究所代表

安藤礼二 文芸評論家 / 多摩美術大学美術学部芸術学科教授

玄侑宗久 芥川賞作家 / 福聚寺第35世住職

会員募集

直感とは、何らかの意味で常に創造的です。

…ある意味で、ふつうの人は創造的な人生から遠い。本当は常に創造しているというのに、その評価の方法をたいていの人は知らないのです。動物や植物なども同じく、当たり前のように創造しています。 ※2

一つの存在が客体と主体に分かれると、もはや存在そのものとは言えない。分裂したものです。 ※3

“And God saw everything that he had made, and, behold, it was very good.” (創世記、第一章)
この平凡なvery goodが「妙」である。このグッドは善悪の善でもなく、好醜の好でもない。すべての対峙をはなれた絶対無比、それ自身においてある姿そのものなのである。「妙」はこれに外ならぬ。雲門のいわゆる「日日是好日」の好である。 ※4

※1-4 鈴木大拙の言葉より

出典: ※1『禅と日本文化』(訳:北川悦雄) ※2『鈴木大拙 コロンビア大学セミナー講義(上)』(訳:重松宗彦、堂島義伸) ※3『大拙 禅を語る』(監修・訳:重松宗彦) ※4『大法論』(新編『東洋的な見方』編集:上田閑照)

鈴木大拙 (すずき だいせつ 1870-1966) 仏教学者。本名、貞太郎。石川県金沢市生まれ。東京帝国大学在学中、鎌倉円覚寺に参禅し、居士号「大拙」を受ける。1897年渡米、出版社に勤務。1909年帰国後、学習院、東京帝国大学講師、翌年、学習院教授となる。11年にピアリス・アールスキン・レーンと結婚。21年大谷大学教授に就任。36年ロンドンでの世界信仰会議に出席。49年-58年、アメリカの大学やヨーロッパに赴き、大乘仏教思想とくに禅思想を講じる。英名D.T.Suzukiとして知られる。

ワタリウム美術館「大拙を体験する 2020」会員募集 ● 講演会 全4回 ● 時間 各回19:00-21:00

禅をZENとして、海外に広く知らしめた鈴木大拙。大拙の教えを受け、禅への傾倒で知られるジョン・ケージの無の概念、さらに日本において、大拙に教えを受けた柳宗悦の民藝。以後の芸術全体に影響を与えつづける彼らの周辺を中心に、大拙とは、禅とは、芸術とは、——を、みなさんと一緒に考えてゆきたいと思えます。

2月21日[金] 2020年

齋藤環 精神科医 / 筑波大学医学医療系社会精神保健学教授

マインドフルな対話は可能か

近代以降の精神医学は、普遍と個人との間で弁証法的な葛藤を繰り返してきたのではなかったか。催眠療法から精神分析、薬物療法からCBT、マインドフルネスからDMNへと、その振幅は収束することなく続いている。…ここにきてようやく、普遍と個人を収束させるポイントが見えてきたように思う。そう、それこそが「対話」なのである。

「オープンダイアログがひらく精神医療」より



鈴木大拙書「△口不異○(色不異空)」

出典:岡村美穂子・上田閑照著『大拙の風雲—鈴木大拙とは誰か?』1999年、燈影撰書

3月19日[木]

土井善晴 料理研究者 / おいしいもの研究所代表

食事と民藝

食事とは大自然と人間の関係です。料理は創造の始まりです。食事とは表現者と観客の関係。自然とひと、人とひと、人との、物との、の間に情緒が生まれます。幸福は「美」の中にあると考えます。



鈴木大拙 エラノス会議にて 1953年8月
出典:岡村美穂子・上田閑照著『相顔と風貌—鈴木大拙写真集』2005年、禅文化研究所

4月24日[金]

安藤礼二 文芸評論家 / 多摩美術大学美術学部芸術学科教授

「無」について: 大拙とケージの創造的な交錯

ジョン・ケージはコロンビア大学で鈴木大拙の講義に出席し、計り知れないほど大きな影響を受けた。2人の出会いは決して偶然ではない。近代の哲学概念、近代の芸術概念を乗り越えて行くという野心的な試みの最中で2人の営為は共振し、交響したのだ。なぜ2人は出逢わなければならなかったのか、その結果、近代の哲学と近代の芸術はどのように変容したのか。2人がともに注目した「無」を中心に、その創造的な交錯の軌跡を明らかにしたい。

6月19日[金]

玄侑宗久 芥川賞作家 / 福聚寺第35世住職

「華嚴」という見方

鈴木大拙翁は終戦後、覇権思想を溶解するものとして「華嚴経」に注目した。ヒエラルキーのない「雑華嚴飾」の思想で、世界を再構築しようとしたのだろう。今また覇権を争う国家や経済社会で、最も求められるべき思想が「華嚴」ではないだろうか。歴史や経典の内容も含めて考えてみたい。

齋藤環 さいとう たまさ

安藤礼二 あんどう れいじ

土井善晴 どいよしはる

玄侑宗久 げんゆう そうきゅう

大拙を体験する2020 参加方法 [お申込は、Email: watarium3@gmail.comまでお送りください]

- 件名「大拙を体験する2020会員申込」とし、1.お名前(フリガナ) 2.ご住所 3.Tel/Fax 4.Email 5.ご職業 6.会員番号(会員の方のみ)をご記入の上、Email: watarium3@gmail.comまたはFax: 03-3405-7714までお送りください。同時に、入会金+参加費をお振込ください。 ● お問合せ:ワタリウム美術館 150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6 Tel:03-3402-3001
- 入会金: ¥2,000- [初年度のみ] *大拙を体験する2019会員、ワタリウム美術館サポーター会員の方は入会金無料。artpass、直前倶楽部2019会員の方は入会金 ¥1,000-
- 参加費: ¥8,000- [講演会 全4回] ● 振込先:三井住友銀行 青山支店 普通口座 1033281(名義)ワタリウム美術館
- *ご入金の方へ、[大拙を体験する2020]を印刷3日前までにお送りします。*大拙を体験する会員は、期間中、ワタリウム美術館への入館が無料になります。*定員になり次第、お切せさせていただきます。